

徳島県博物館協議会 NO. 29 ニュース

< 目次 >

「今わが館では…」 …… 1
 ○あすたむらんど徳島子ども科学館 …… 2
 ○徳島県立近代美術館 …… 3
 「加盟館紹介」○上板町立歴史民俗資料館 …… 3
 ○とくしま動物園○藍住町歴史館「藍の館」
 ○松翁美術館○徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

「情報コーナー」 …… 4
 ○松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館
 ○鳴門市ドイツ館○徳島市立徳島城博物館
 ○徳島県立鳥居記念博物館
 ○貝の資料館「モラスコむぎ」 …… 5
 ○JパワーよんでんWanダーランド
 ○徳島県立佐那河内いきものふれあいの里
 ○大塚国際美術館 …… 6

「今、わが館では…」

あすたむらんど徳島 子ども科学館

あすたむらんど徳島子ども科学館は、「科学技術と自然環境の調和」を共通のテーマとして、「宇宙と地球」、「生命と環境」、「科学技術と人間」の3つの展示テーマで構成しています。展示物は、科学に親しみが持てるよう可動装置や実験装置、実演などを多く取り入れ、直接触れ、操作しながら「考えてみる」ことができるよう工夫をこらしています。この子ども科学館常設展示に、11月から新しい展示物が2つ加わりましたので、ご紹介させていただきます。



1つ目は、「生命と環境」の部屋に登場した「古代魚 魚っちゃんぐ（こだいぎょ うおっちゃんぐ）」です。古代魚とは、大昔から姿形を変えず、現在まで生息し続け、化石としても産出されることのある魚のことです。「古代魚 魚っちゃんぐ」では、お客様に古代魚を観察してもらうことにより、現在の新しい魚たちとの形態の違いや、生態のおもしろさを知っていただき、生き物全般への興味関

心を持っていただきたいと企画しました。展示スペースでは、10本の水槽を配置し、アロワナや、ポリプテルス、肺魚など、合計15種類の魚を生体展示しています。



2つ目は、「宇宙と地球」の部屋に登場した「宇宙実験装置」です。この「宇宙実験装置」は、日本人で初めてスペースシャトルに乗った毛利衛宇宙飛行士が、1992年に宇宙で実験を行った「ふわっと'92」の際の訓練用シミュレーターです。これまでは東京の日本科学未来館で展示されていたものを、未来館と宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力により借り受けて、あすたむらんどで展示することになりました。

 子ども科学館には面白くてふしぎな科学展示がいっぱい！

世界一の明るさを誇るプラネタリウムもどうぞ！

〒779-0111 板野郡板野町那東

Tel: 088-672-7111

徳島県立近代美術館

徳島県立近代美術館では、今年度も特別展を順次開催しています。いま、「京都画壇に咲いた夢ー幸田春耕、暁冶父子と京都・徳島の日本画家たち」展（12月7日まで）を開催していますので、ご紹介したいと思います。

展覧会の中心となるのは、徳島県出身の日本画家、幸田春耕とその息子、暁冶です。春耕（1897－1976年）は、現在の徳島市国府町の生まれ。20歳頃、京都に出て、京都画壇の大家である山元春挙に学び、戦前の帝展や新文展で活躍。戦後は、日展に出品しました。池田遙邨を中心とした画塾、青塔社の結成にも加わり、指導的な役割をはたしています。

息子の暁冶（1925～75年）は、京都市立美術専門学校（現在の京都市立芸術大学）に学び、池田遙邨に師事。日展や京展などで注目され、1960年代には、若手日本画家のホープと評されるなど、将来を嘱望された存在でした。しかし、結核のため50歳で死去。その1年後には、父の春耕も後を追うようにして亡くなっています。

二人は京都画壇で活躍した作家でしたが、相次いで亡くなって30数年が過ぎ、ゆかりのある徳島でも知る人は少なくなっていました。そのようななかで開催された今回の展覧会が、彼らの画業を見直す機会になればと考えています。



幸田春耕〈牛の園〉1954年 当館蔵



幸田暁冶〈踊り子〉1975年 個人蔵

昭和初期から戦後まで、幸田親子は、日本画をこころざす徳島の若者にとって大きな存在だったことから、三木文夫（1912～2004年）や市原義之（1943年～）など、京都で学んだ徳島県出身の画家たちとも交流がありました。本展では、師にあたる山元春挙や池田遙邨とともに、三木、市原の作品も紹介しています。

近現代史の研究は、比較的近い時代を対象としていますが、時を経るうちに資料は失われ、関係者が少なくなっていくのも事実です。この展覧会に向けた調査では、暁冶の奥様の協力を得て、いくらかの資料整理を行うこともできたのですが、「もう何年か早かったら・・・」と思う場面がありました。時間とのたたかいが、近現代史の調査にはつきまといます。

いずれにしろ、美術の研究では、作品が鑑賞されなければ、作家の位置づけの検討もあやうくなってきます。ぜひ展覧会で作品をご覧ください、意見の交換ができたらと思っています。

（専門学芸員 森 芳功）

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
Tel: 088-668-1088

加盟館の紹介

上板町立歴史民俗資料館

当館では、おもに上板町の農具、生活用具を中心に展示を行っています。

なかでも、近世から明治にかけて当町とその周辺で盛んであった阿波和三盆の製造用具（砂糖車、荒釜、押槽、研槽、澄まし桶等）、阿波藍の製造用具（ハネ、クマデ、コマザラエ、臼、杵等）の展示、大正・昭和に雑誌「青鞆」等で活躍した当町出身の作家 生田花世の自筆原稿等の展示が当館の特徴です。

また、他に農具（唐箕、足踏み脱穀機、製縄機等）、生活用具（遊山箱、洗濯板、蓄音機等）も展示していることから、小学校の社会科見学にご利用されたり、当館研修室で毎年6月から3月にかけて、公民館講座「陶芸入門」を実施し、地域や学校の教育活動とも連携しています。

今年8月から、旧日本軍の航空特攻兵器「櫻花」に装備された火薬ロケットを展示しています。これは、昨年10月に町内の旧吉野川川底で発見され、戦争の悲惨さを後世に伝える歴史資料です。

開館日時は、火曜日から金曜日、午前9時から午後4時30分です。お問い合わせは当館もしくは、上板町教育委員会にお電話してください。ご来館お待ちしております。



〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋8-1
Tel: 088-694-5688
(上板町教育委員会 Tel: 088-694-6814)

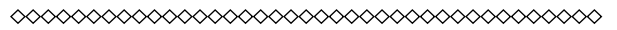
とくしま動物園



とくしま動物園では、季節外れですが、動物の子どもたちが登場しています。

温帯地区では5月につぎ町で保護されたニホンカモシカ、サバンナ地区ではカピバラの7頭の赤ちゃん、そして寒帯区には4月に生まれたアンデスコンドルのひなが愛らしい姿を見せています。

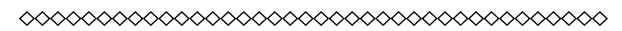
今だけかわいい姿をぜひご覧ください。



藍住町歴史館「藍の館」

「阿波藍の文化と歴史」

日本古来の染料としての藍、伝統的な阿波藍のすべてを知ることができ、藍の歴史や文化の情報発信地となっています。建物は天保から明治時代にかけて隆盛をきわめた阿波藍の大豪商である奥村家の藍屋敷を復元したもので全建造物13棟は県の有形文化財となっており、阿波の藍商の当時の栄華を物語っています。館内では、藍栽培の過程をミニチュアの人形で再現し、藍の栽培、加工、流通のすべてをわかりやすく説明してあります。また、徳島大学の授業の一環としてインターンシップの受け入れ実施もしております。

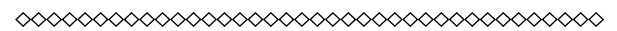


菘翁美術館

小さな美術館ですが、日常の喧騒から離れ閑寂で豊かなひとときを過ごせる空間を目指しています。今から230年前徳島に生まれた貫名菘翁（ぬきなすうおう）は幕末の三筆の1人として書・画共に全国的に愛好家が多く、県外からも多数ご来館いただいています。

郷土の生んだ書傑の作品を是非一度ご覧下さい。

(毎月第二土曜日のみ開館)



徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

阿波人形浄瑠璃 定期公演

徳島の郷土芸能である阿波人形浄瑠璃を上演しております。

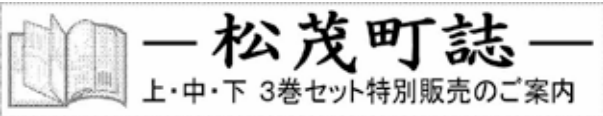
平日 11:00

土・日・祝 11:00・14:00 (30分間)

上演時間以外は映像上演をしております。

情報コーナー

松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館



松茂町歴史民俗資料館では現在、昭和50年・51年発行の『松茂町誌 上・中・下巻3冊セット』を特別価格にて販売しております。

経年劣化による外箱や装丁の品質低下のため、お求めやすい価格での特別販売となります。

(※本文の閲覧上は問題ありません)

松茂町の自然や民俗、成り立ちから近世・近現代にかけての歴史や記録など…各種古文書や当時の写真なども詳しく紹介。上巻には、古地図4点が付録。地域史や古文書の学習などに、ぜひご利用下さい！

『松茂町誌 上・中・下巻 3巻セット』
特別価格 1,000円(税込み・分売不可)

—ご注文は—

松茂町歴史民俗資料館【TEL:088-699-5995】まで。(メール【book@joruri.jp】・FAX【088-699-5767】でも受け付けております。お名前・ご連絡先をお送り下さい。折り返し詳細をご連絡させていただきます。)

※窓口での直接販売の他、送料着払いにて発送も行っております。



鳴門市ドイツ館

ドイツ館のクリスマス会

○日時：12月14日(日) 13:00～15:00

○場所：鳴門市ドイツ館 大ホール

○定員：先着100名

○参加費：ひとり500円

○内容

- ・クリスマスツリーを飾ろう
- ・紙で作る尖塔アーチにさあチャレンジ!
- ・プレゼント交換会

(ひとり300円程度のプレゼントを用意してお持ちください。)

○お問い合わせ先：TEL 088-689-0099

徳島市立徳島城博物館

冬の企画展 「阿波絵図の世界Ⅱ」

徳島城博物館では、平成8年に絵図の魅力に着目して企画展「一徳島発見一阿波絵図の世界」を開催しました。今回の企画展は、絵図を主題とする展覧会の第二弾として開催するもので、徳島藩主蜂須賀家が秘蔵してきた絵図に加えて、伊能忠敬が作成した「大日本沿海図稿」(徳島大学附属図書館蔵)を公開いたします。絵図とは、近代的な作図技術が発達していなかった江戸時代、独特な表現で地域のさまざまな情報を的確に表現した貴重な資料です。この展覧会では、形状や表現方法等のユニークな絵図をとりあげながら、絵図の見どころや魅力、さらには阿波の歴史を探っていきます。

○会期 11月26日(水)～1月25日(日)

関連事業

●記念講演会

演題 「阿波の絵図噺」

とき 12月14日(日) 13:30～15:00

講師 平井松午氏(徳島大学総合科学部教授)

●展示解説

とき 12月7日(日)・12月23日(火)・
1月24日(土)

14:00～15:00

講師 担当学芸員

●入館料 大人300円・高大生200円・

小中学生無料

20人以上の団体は2割引

●休館日 毎週月曜日・12月24日・1月13日

(1月12日開館)・12月28日～1月5日

【問い合わせ先】徳島市立徳島城博物館

〒770-0851 徳島市徳島町城内1-8

Tel: 088-656-2525 / FAX088-656-2466

徳島県立鳥居記念博物館

当館は平成22年11月に文化の森へ移転する予定です。鳴門市内にある記念博物館での展示は、あと一年有半ですので、お早くご観覧ください。なお、祝祭日は無料となっています。

〒772-0016 鳴門市撫養町林崎字北殿町

(妙見山公園内) Tel: 088-686-4054

加盟館一覧

- 徳島県立博物館
- 徳島県立近代美術館
- 徳島県立文書館
- 徳島市立徳島城博物館
- とくしま動物園
- 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
- モラエス館
- 徳島県郷土文化会館阿波木偶資料館
- 徳島県立鳥居記念博物館
- 鳴門市ドイツ館
- 大鳴門橋架橋記念館
- 勝浦町郷土資料展示室
- 阿南市立阿波公方・民俗資料館
- 相生森林美術館
- 日和佐うみがめ博物館
- 貝の資料館「モラスコむぎ」
- 松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館
- 社団法人 三木文庫
- 藍住町歴史館「藍の館」
- 上板町立歴史民俗資料館
- 阿波市立土成歴史館
- 阿波市立市場歴史民俗資料館
- 財団法人 阿波和紙伝統産業会館
- 美馬郷土博物館
- 三好市井川民俗資料館
- 東みよし町立歴史民俗資料館
- 平家屋敷民俗資料館
- 石の博物館
- 徳島県立佐那河内いきものふれあいの里
- 阿波木偶人形会館
- 松翁美術館
- 阿波こくふ街角博物館
- 阿南市科学センター
- 海陽町立博物館
- 海陽町海洋自然博物館（海中観光船）
- 神山町郷土資料館
- 祖谷宝物館
- 大塚国際美術館
- 徳島市立考古資料館
- 旧永井家庄屋敷
- 阿波おどり会館
- 吉野川市美郷ほたる館
- 東福寺美術館
- あすたむらんど徳島子ども科学館
- Jパワー&よんでんW a ンダーランド
- 鳴門市賀川豊彦記念館
- 徳島市天狗久資料館
- 徳島県立文学書道館
- 鳴門ガレの森美術館
- 川田民俗資料館
- 阿陽史料館

大塚国際美術館

当美術館は、山本寛齋事務所と共同で『熱き心展～寛齋元氣主義』を2009年1月10日（土）から3月29日（日）まで開催する運びとなりました。世界を魅了した寛齋作品が一堂に会する、貴重な展覧会です。これに合わせ、「熱き心展～寛齋元氣主義～」開催記念特別イベント山本寛齋スーパートークライブ～迫力の映像と熱いトークの70分～を行ないます。

- 日時 1/10（土）13:30～14:40
- 2/ 7（土）13:30～14:40
- 3/ 7（土）13:30～14:40

- 場所 システィーナ・ホール
- 参加費 入館料に含まれます

※当日は地元鳴門市から渦潮太鼓や阿波踊り連もかけつけ、楽しい時間をさらに盛り上げていきます！

一事務局よりお知らせ一

この「徳島県博物館協議会ニュース」は、徳島県立博物館のHPに掲載しています！写真画像等はより鮮明に見ることができますので、ご活用ください。

<編集後記>

内容を一新して2回目の編集発行となりました。よくあるお問い合わせの中で、原稿をどのコーナー向けにすればいいのかといったものがありますが、コーナーを固定しているわけではありませんので、情報提供していただける原稿をお気軽に送ってください。お寄せいただいたものを編集します。

なお、今回予定しておりました先進地調査の報告は、参加希望者が例年になく少なく調査が中止となったためできませんでした。

徳島県博物館協議会ニュースNo. 29

平成20年12月1日 発行

編集・発行者
〒770-8070

徳島市八万町向寺山
徳島県立博物館内
徳島県博物館協議会事務局

TEL. 088-668-3636

FAX. 088-668-7197